

## 真生会富山病院を受診された患者の皆さま

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	eGRRAPS (eGFR reduction rate automatic presentation system)を用いた糖尿病性腎症の病期分類と $\Delta$ eGFRとの関連
当院の研究責任者(所属)	平谷和幸 ( 真生会富山病院糖尿病代謝内科・糖尿病センター )
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	当院外来通院中の糖尿病患者において、糖尿病性腎症の病期分類を行った上で、eGRRAPS (eGFR reduction rate automatic presentation system eGFR低下率自動提示システム)を用いて、 $\Delta$ eGFR(eGFRの年間低下量)を算定して、病期分類別の平均 $\Delta$ eGFRを算定します。その上で、糖尿病性腎症の病期分類の $\Delta$ eGFRからみた重症度の評価を改めて行います。
調査データの該当期間	研究実施期間:承認日から令和4年10月30日 調査データの該当期間:令和2年7月から令和3年10月まで
研究の方法(対象となる方)	令和2年7月から10月までに、当院内科を受診された糖尿病患者を対象とします。 ・腎症については、以下の基準で病期分類を行います。 1期:尿アルブミン定量 30mg/gCr未満の方 2期:尿アルブミン定量 30mg/gCr以上、かつ尿タンパク定量 500mg/gCr未満の方 3期:尿アルブミン定量 30mg/gCr以上、尿タンパク定量 500mg/gCr以上で、eGFR 30以上の方 4期:eGFR 30未満の方 ※ただし、透析患者を除きます eGFRの1年間の変化量( $\Delta$ eGFR)を評価できる患者に限ります。
研究の方法(使用する情報)	・患者背景:性別、身長、体重、現治療薬 ・血液生化学検査:クレアチニン、eGFR、HbA1c ・尿検査:タンパク定量、アルブミン定量
試料/情報の他機関への提供	該当なし
個人情報の取り扱い	使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
相談・問い合わせ・苦情	電話:0766-52-2156(内線1910) 担当者: 平谷和幸 ( 医師 )
備考	